

第3回 長野広域連合ごみ処理施設整備計画等専門委員会議事録（2日目）

[日 時]	令和4年8月25日（木）13:15～15:00
[会 場]	長野市中条支所 会議室
[出席者]	専門委員 5名
	オブザーバー 1名
	長野広域連合 4名
	八千代エンジニアリング株式会社 6名

1. 開会

2. あいさつ

3. 議題

事務局から説明後、意見を伺った。

(1) 報告事項 イ 施設構想図（長野市中条日高（入日））

(2) 協議事項 ア 候補地の現況報告（現地調査）

【委員】水田の取水位置が不明である、水の流れを含めて確認すること。

【委員】小規模の地すべりが多々存在しているとのことだが、大きな地すべりが背後にある可能性がある。注意して計画すること。

【委員】40万㎡程度の残土が出る計画となっているが、残土の処理先は検討しているのか。

【事務局】敷地の中で処理するのは難しいと考えている。具体的な計画が決まったら、既存の広域連合の施設内で残土の活用を考えていく。今回は、残土処分費用を施設整備費に加える予定である。

【委員】希少動植物がいた場合の対応方針を検討すること。

(1) 報告事項 イ 施設構想図（長野市中条日高（びわ島））

(2) 協議事項 ア 候補地の現況報告（現地調査）

【委員】盛土計上で計画しているため、沈下のリスクを考慮すること。

【委員】最近の地形図だけでなく、古い地形図も参考にリスクを確認すること。

【委員】地形の変化が判断しやすいように古い航空写真があれば資料に付けること。

【委員】雨期と乾期の航空写真があると、地下水の流れが分かる場合もある。

(1) 報告事項 イ 施設構想図（長野市中条（専門～大塩））

(2) 協議事項 ア 候補地の現況報告（現地調査）

【委員】下流に砂防ダムがあるが、どの評価項目に入るのか。

【事務局】留意事項もしくは整備計画の容易性の項目に入れることが考えられる。

【委員】土石流による流出土対策を踏まえた計画になっているとの理解で問題ないか。

【事務局】地形・地質の留意事項は概算工事費に反映や、留意事項として記載することで評価していただきたいと考えている。

【委員】活断層ではないが、近くに中条断層が通っているため、配慮が必要である。

(1) 報告事項 イ 施設構想図（小川村梶尾地区）

(2) 協議事項 ア 候補地の現況報告（現地調査）

【委員】敷地範囲の中で特記されていない箇所が多いが踏査があまりできていないのか。

【事務局】踏査時期と最新の計画時期がずれてしまったため、踏査できた範囲は限られているが、状況はあまり変わらないと考えている。ただし、候補地として選定された場合は、改めて確認する必要はある。

【オブザーバー】どの地点と同様と考えているか、資料に明記して分かるようにすること。

【委員】放流先が不明なため、計画に沢筋を入れ、経路がある程度分かるようにすること。

【委員】切土により、新たな地すべりを誘発しないように検討及び計画すること。

【委員】近隣に住まわれている方の移転は考えているか。

【事務局】今後、計画が進んだ後に実情を踏まえて検討する予定である。

【オブザーバー】道路の新設を計画しているため、新設道路の部分においても地形的危険箇所を確認すること。

(2) 協議事項 イ 評価項目・評価方法・評価基準

【委員】獣や鳥類の記載がないが、それらはいないという理解で良いか。

【事務局】獣類、哺乳類については、しっかりした調査をしないと分からない状況である。現地調査では、シカやイノシシ等、痕跡が残るようなものは把握している。鳥については、現地に入った段階で痕跡が確認できれば記録する予定だったが、現時点では確認できていない状況である。

【委員】文献も参考に希少動植物のデータを示すことはできないのか。

【事務局】長野県でメッシュデータを持っているので、参照の上確認している。

【委員】水の流れ、放流先が分かる図面を作成すること。

【委員】各候補地が条件にどの程度合っている場所なのか判断するため、これまでの調査で明確になっている部分はきちんと整理しておくこと。

【委員】地形的危険箇所の対策など、処分場を造った場合の変化についても構想図に記載してほしい。

【委員】審査方法は、事務局で作成した原案を基に評価を行うこととする。

4. 連絡事項、その他

5. 閉会

以上